

ざっくり
黙示録

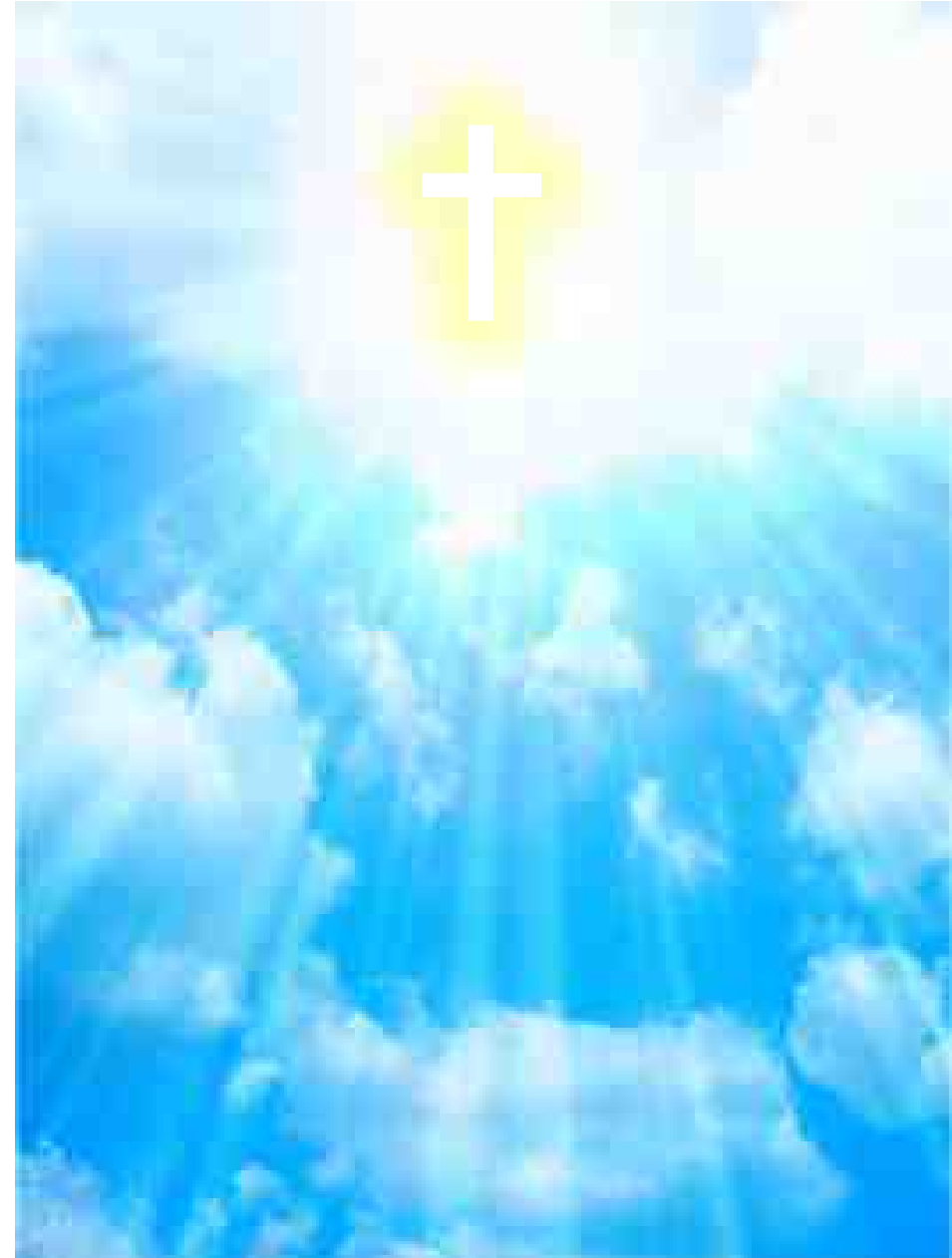
③

7つの教会 への手紙・後

黙示録3章

【今日のアウトライン】

- 0. ふりかえり 聖書の世界観
 - I. 教会の歴史を振り返る
 - II. 7つの教会への手紙・後編
 - III. まとめと適用
- 福音から知るキリスト
栄光の主を讃えよう



0. ふりかえり



【聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある】

天地創造
人類の墮罪

キリストの
十字架の
死と復活

世界の回復

キリストの
再臨

これから起きること

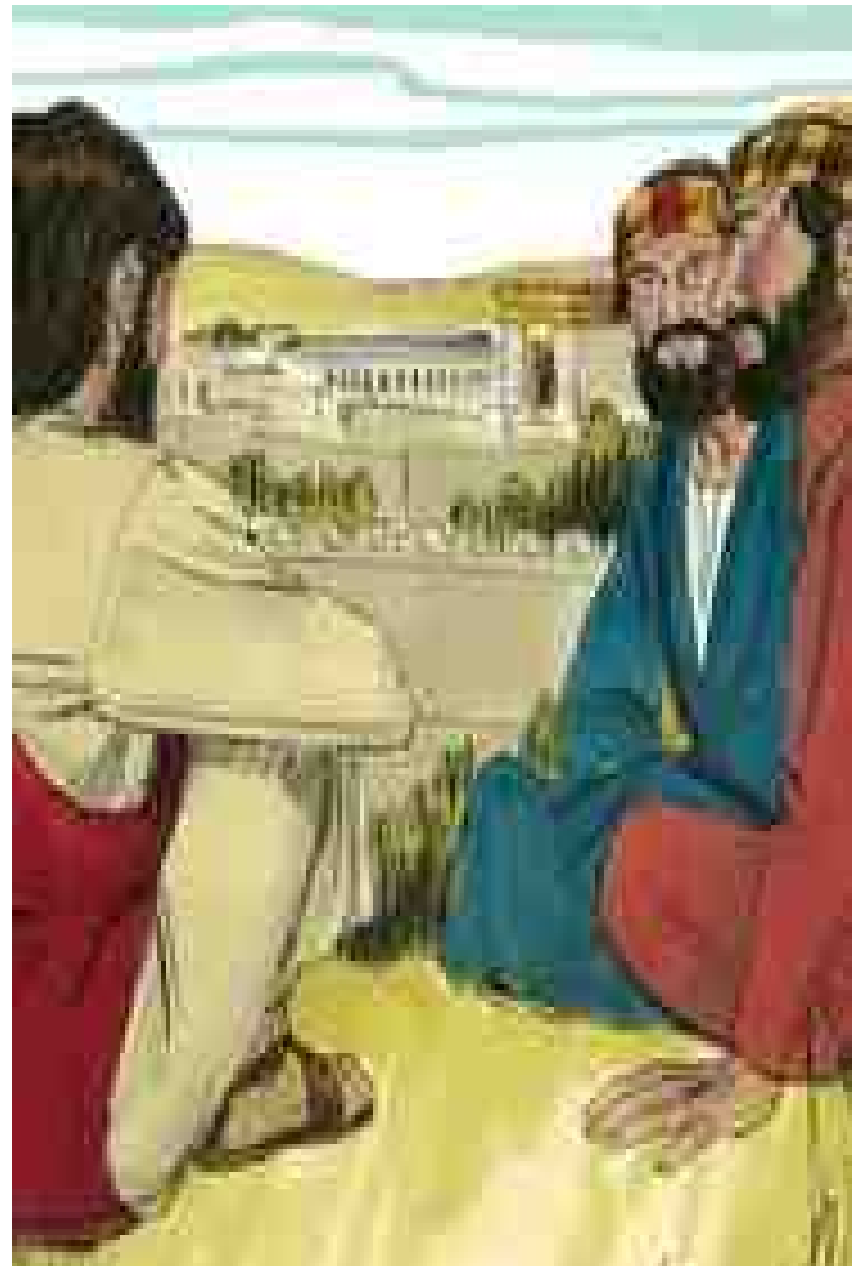
今の時代(教会時代)

～ゴールは、世界の回復。理想世界の実現～



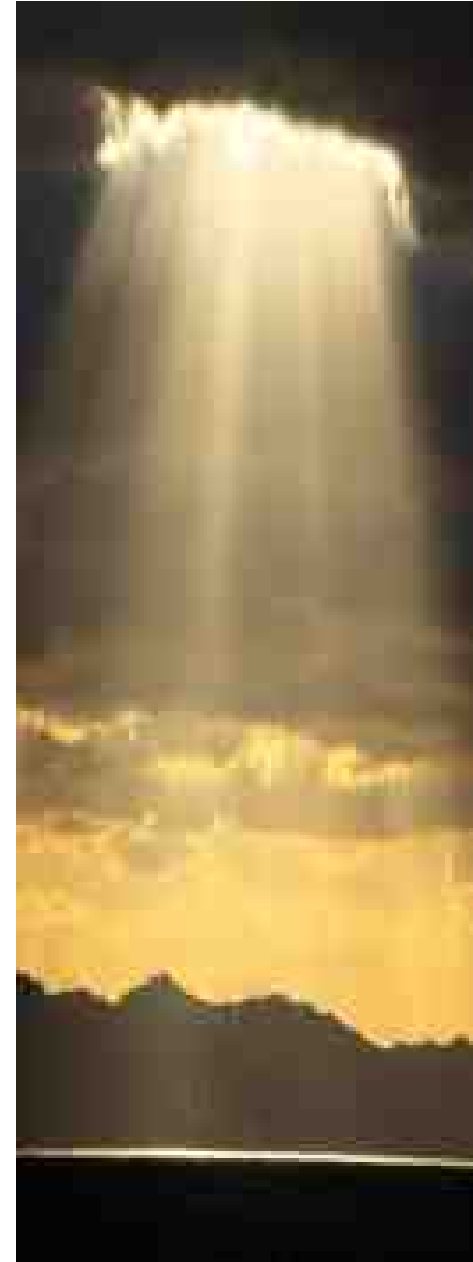
【聖書が教える今の時代とは？】

- イエスは、十字架の死と復活によって、悪魔に勝利したが、まだ正式に、地上の王になっていない。
- 悪魔が地上を不法占拠している状況。
- 世の中は、悪くなっていく一方。
「方々で戦争が起こり、偽キリストが大勢現れる。」
イエスの警告(マタイ24:5～6)



【聖書の終末観の原則】

- 人は、ただ、イエスを救い主と信じて救われる。
- 全ての人に、救いの手が差し伸べられている。
⇒ 応答した人は、その瞬間に救われる。
- 世界の回復は、再臨のイエスがなされる。
すべての罪と悪は、主イエスが裁かれる。
⇒ それがいつかは、誰も分からない。
- 人間の努力で、終末が早まることはない。
- 一人でも多くの人が、福音を信じて救われるための、“猶予期間”が、今の時代!!



★ イスラエルの歩み ★

【千年王国】

黙示録

メシア再臨

【大患難時代】

異邦人の時

エルサレム陥落 70

メシア初臨

【中間時代】

帰還・再建 前538

バビロン捕囚 前587

新しい契約

北イスラエル滅亡 前722

南北分裂 前950

【王国時代】

ダビデ契約

【カナン定着・士師時代】

土地の契約

【荒野の四〇年】

モーセ契約

【エジプト奴隷の四〇〇年】

出エジプト 前1290

【族長時代】

アブラハム契約

【黙示録について】

■ 著者は、十二使徒の一人、ヨハネ。

■ AD95年頃、流刑先のエーゲ海のパトモス島で記述。

➡ 主イエスの十字架と復活から、約65年後。
(「使徒の働き」のラストから35年後)

➡ ローマ帝国の迫害が強まり、多くの殉教者も。
2世代目のクリスチャンが主流に。

■ 目的 ... 迫害に直面している信者の励まし

① 終末の希望をもって迫害を耐え忍ぶ。

② 終わりの日に、悪は必ず裁かれ、

主イエスが王の王となって、世界を統治する。

聖書の希望は
終末的希望!!

【黙示録の3つのテーマ】 黙1:19～20

「それゆえ、あなたが見たこと、* 今あること、* この後起ころうとしていること* を書き記せ。

あなたがわたしの右手に見た七つの星と、七つの金の燭台の、秘められた意味について。七つの星は七つの教会の御使いたち、七つの燭台は七つの教会である。」

①あなたが見たこと(1章) ...裁き主なる栄光のキリスト

②今あること(2～3章) ...教会時代の教会への警告

③この後起ころうとしていること(4～22章)

...携拳、大患難時代、再臨、千年王国、新天新地。



黙示録アウトライン

見たこと

今あること

これから
起きること

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4章
大艱難時代	大艱難時代に起こること キリストの再臨	5章～20章
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20章
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21～22章
結 論	イエスの宣言と招き	22章

★図で見る黙示録★

【パラダイス】

【天上の礼拝】

4章

教会の携挙

聖霊
降臨

キリストの
再臨

【千年王国】

20章4～25節

白い御座の
裁き

【ゲヘナ(地獄)】

【陰府(よみ)】

【大患難時代】

5～20章3節

【教会時代】

2～3章

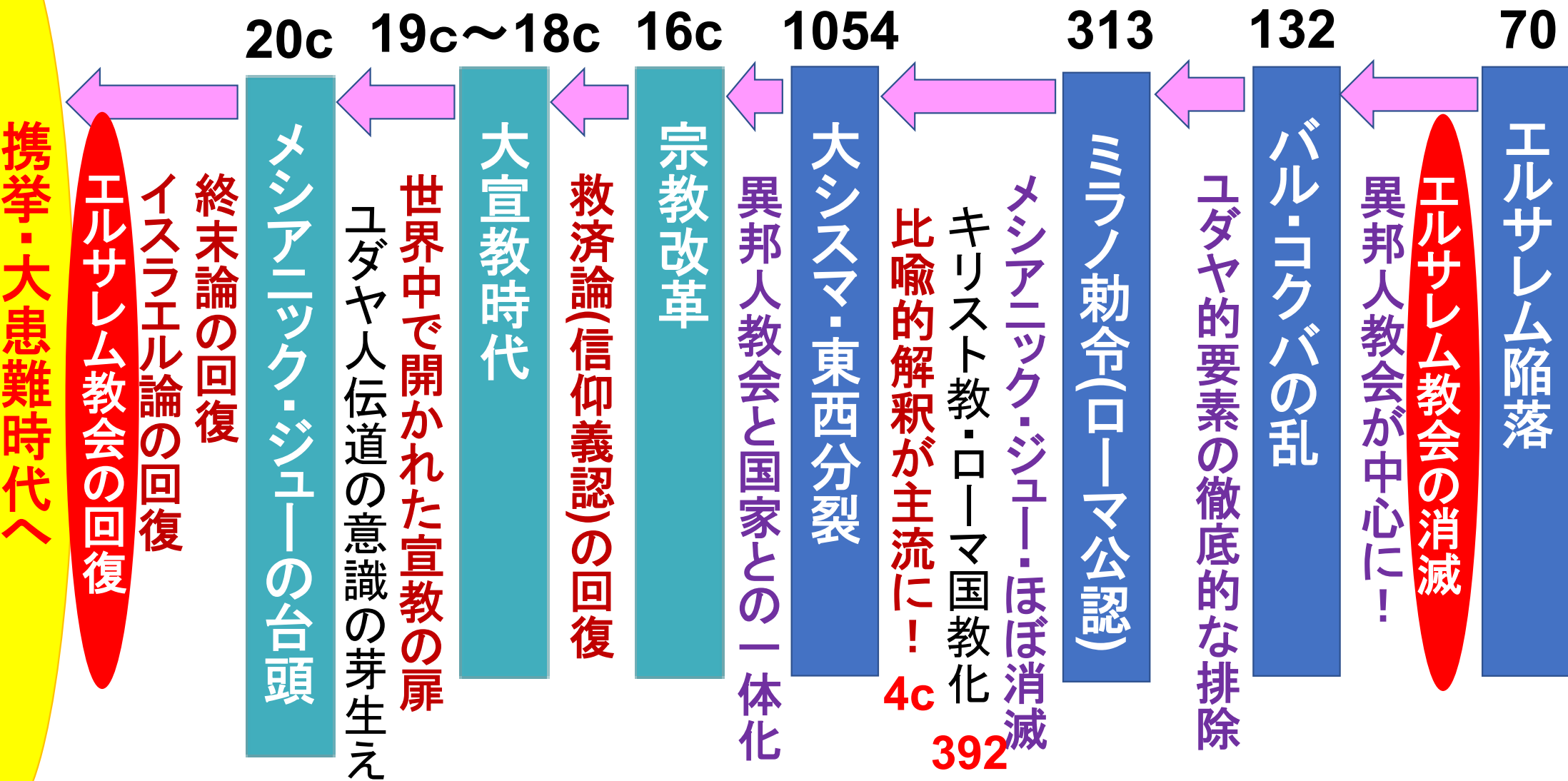
【新天新地】

21～22章5節

I. 教会の歩みを振り返る



【本来のユダヤ的文脈の喪失と回復】



【後の時代を見越したパウロの警告】

「すると、神はご自分の民を退けてしまわれたの
ですか。絶対にそんなことはありません。

ロマ 11:1」

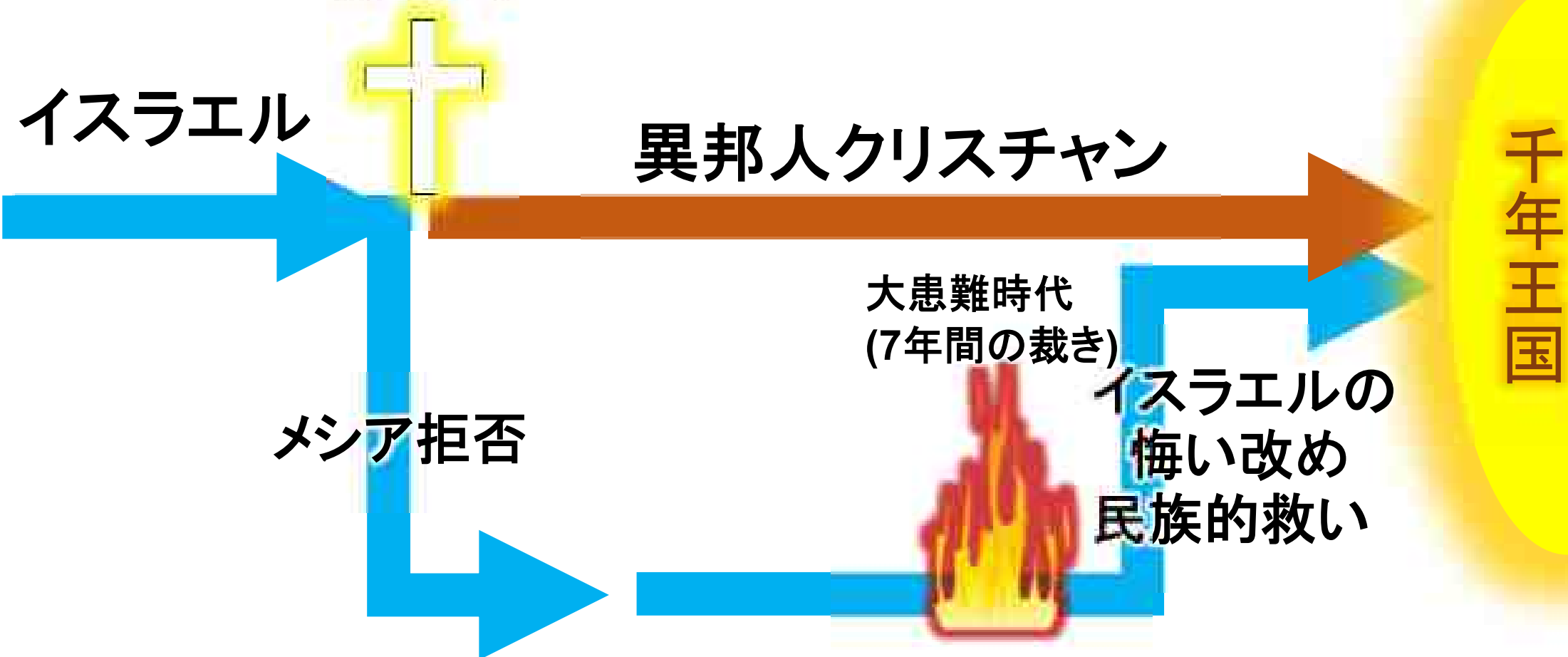
「その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなに
なったのは異邦人の完成のなる時までであり、
こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。

ロマ11:25～26」



【イスラエルに対する神の救いの計画】 ロマ11:25～26

「イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の満ちる時が来るまでであり、こうして、イスラエルはみな救われるのです。」



Ⅱ. 7つの教会への手紙・後半

黙示録3章

サルデイス、フィラデルフィア、ラオディキア





【福音宣教の広がり】

教会は、エルサレムで誕生し、

30年の間に、小アジア(トルコ)、ギリシャ、ローマに

広がっていった。







ペルガモン

③ ティアティラ

④ サルデイス

⑤

⑥

②

スミルナ

フィラデル

フィア

⑦

ラオディ

キア

①

エペソ

■ パトモス

【7つの教会へ】 黙1:11

その声はこう言った。

「あなたが見たことを巻物に記して、

七つの教会、すなわち、

①エペソ、②スミルナ、③ペルガモン、

④ティアティラ、⑤サルディス、

⑥フィラデルフィア、⑦ラオディキアに

送りなさい。」



【7つの教会への手紙とは？】

■ 天におられる**栄光のキリスト**が、

使徒ヨハネを通して**地上の教会**に宛てた手紙。

➔ 当時、小アジア(トルコ)に実際にあった教会。

現在は、一つも残っていない。


■ 教会時代のすべての教会に宛てたもの。

■ 七つの教会は、

① 時代ごとの教会の特徴であり

② すべての教会のタイプでもある。

全地域教会は、七教会のどれかの特徴を持つ。



キリストからの
直々の手紙が、
七つの教会への手紙

7つの教会が示す教会時代

★教会名	①エベソ	②スミルナ	③ベルガモン	④ティアティラ	⑤サルデイス	⑥フィラデルフィア	⑦ラオデキア
(意味)	(好ましい)	(没薬)	(結婚した)	(継続した犠牲)	(逃れる者)	(兄弟愛)	(人々が支配する)
時代	使徒時代	迫害時代	国家教会時代	暗黒時代	宗教改革時代	大宣教時代	背教時代
年代	～1C	1～4C	4～5C	6～15C	16～17C	18～19C	19C～現代
賞賛	正しい教理	忍耐	護教	行い	残された者	忠実	賞賛なし!
叱責	冷めた愛	略奪	妥協 過寛容	真教理の許容	死にかけ	叱責なし 奨励なし	生ぬるい 設立たず
評価	良	優	良	良	可	優	不可
	過去						現在

①エペソ	②スミルナ	③ペルガモン	④ティアティラ	⑤サルデイス	⑥フィラデルフィア	⑦ラオデキア
(好ましい)	(没薬)	(結婚した)	(継続した犠牲)	(逃れる者)	(兄弟愛)	(人々が支配する)
使徒時代	迫害時代	国家教会時代	暗黒時代	宗教改革時代	大宣教時代	背教時代
~1C	1~4C	4~5C	6~15C	16~17C	18~19C	19C~現代
正しい教理	忍耐	護教	行い	残された者	忠実	賞賛なし!
冷めた愛	叱責なし!	妥協 過寛容	誤教理の 許容	死にかけ	叱責なし! 奨励なし!	生ぬるい 役立たず
良	優	良	良	可	優	不可
過去						現在

①エペソ	②スミルナ	③ペルガモン	④ティアティラ	⑤サルデイス	⑥フィラデルフィア	⑦ラオデキア
(好ましい)	(没薬)	(結婚した)	(継続した犠牲)	(逃れる者)	(兄弟愛)	(人々が支配する)
使徒時代	迫害時代	国家教会時代	暗黒時代	宗教改革時代	大宣教時代	背教時代
~1C	1~4C	4~5C	6~15C	16~17C	18~19C	19C~現代
正しい教理	忍耐	護教	行い	残された者	忠実	賞賛なし!
冷めた愛	叱責なし!	妥協 過寛容	誤教理の 許容	死にかけ	叱責なし! 奨励なし!	生ぬるい 役立たず
良	優	良	良	可	優	不可
過去						現在



【個々の教会へのキリストの手紙のスタイル】

① **キリストの顕現** ... 栄光のキリストの様々な側面から、その教会の課題と関連した一面が現れる。

② **賞賛** ... その教会の良いところが賞賛される。

③ **叱責** ... その教会の悪いところが叱責される。

④ **奨励** ... その教会へのすすめと励ましの言葉。

⑤ **約束** ... 永遠の神の国で信者に実現する様々な約束の内から、特に、その教会と関連したものが告げられる。

※教会の名自体が、その教会の特徴を示している。



【⑤サルディスの教会への手紙】 黙3:1

また、サルディス*にある教会の御使いに書き送れ。
『神の七つの御霊と七つの星を持つ方が、こう言われる—。

* サルディス ...“逃れる者”

➡砂金を産出、織物など公益で富を得た。

アルテミスの神殿が有名。近くに教会の遺跡。

* 聖霊と七つの教会の守護天使

➡主イエスの御手にある。



【⑤サルディスの教会への手紙】 黙3:1～2

わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、生きているとは名ばかりで、実は死んでいる。*

3:2 目を覚まし、死にかけている残りの者たちを力づけなさい。わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。*

* サルディスは、宗教改革時代の教会の型

➡ 国家教会の枠組みを出ることはなかった。
政治権力との結びつき、激しい勢力争い。

* 救済論は回復

➡ イスラエル論、終末論は回復しないまま。

例) 宗教改革者ルターの根強いユダヤ人差別



【⑤サルディスの教会への手紙】 黙3:3

だから、どのように受け、聞いたのか思い起こし、それを守り、悔い改めなさい。目を覚まさないなら、わたしは盗人のように来る。わたしがいつあなたのところに来るか、あなたには決して分からない。

* 盗人のように来る ... I テサ5:2、II ペテロ3:10

➡主の日の裁きは、突然やってくる。

➡突然の携拳。その後の大患難時代。

「マタイ24:42 ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。」

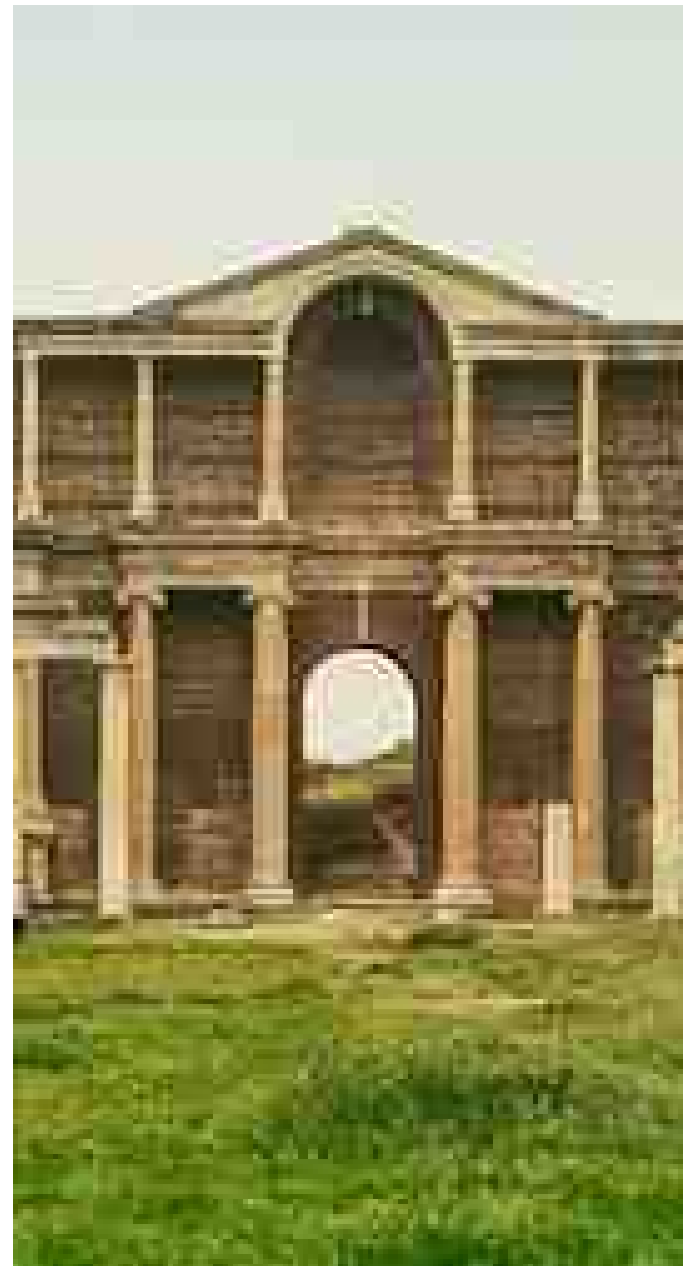


【⑤サルディスの教会への手紙】 黙3:4～5

3:4 しかし、サルディスには、わずかだが、その衣を汚さなかった者たちがいる。彼らは白い衣*を着て、わたしとともに歩む。彼らがそれにふさわしい者たちだからである。3:5 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。

* 白い衣 ...真の信者に着せられる清められた衣。
神の国の衣装。(黙6:11、7:9)

■サルディスは、毛織り物、布地の交易で栄えた。



【⑤サルデイスの教会への手紙】 黙3:5～6

またわたしは、その者の名をいのちの書*から決して消しはしない。わたしはその名を、わたしの父の御前と御使いたちの前で言い表す。耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』

*いのちの書 ...すべての人の名が記された書。
神に逆らい通した者は、その名を
“いのちの書”から消される。
➡永遠の滅びに至るということ。

※子羊のいのちの書(黙21:27)

➡福音を信じて救われた者の名が記される書。



【宗教改革時代の教会】

■ 形式主義、儀式主義。世俗的、政治的組織に墮した。
プロテスタント諸教派も、所詮、国家教会の枠の中。
例) 衰退の一途をたどる欧州の教会。米国の危機。

■ 現在のプロテスタント教会は？

① 生きていると見なされている？ 主イエスの目は？

② 日曜礼拝への出席が、信仰の証し？

日々の中に、主イエスとの生きた関係があるか？

③ 回復された救いの原則に立ち続けているか？

“ただ、信仰と恵みによって救われる”

④ イスラエル論、終末論を回復しているか？

イスラエルを軸にした神の計画を理解しているか？



【⑤サルデイスの教会】「逃れる者」・宗教改革時代

①キリスト...七つの御霊、七つの星を持つ方。

(※①エペソの教会と同じ)

→教会の主であるキリスト

②賞賛...正しい行い。生きているとの評判。

③叱責...実は死んでいる。

→回復された教理は、救済論だけ!!
イスラエル論、終末論は手付かず
国家教会の本質も変わらず!!

④奨励...目をさませ。死にかけている者を力づけよ。
教えを思い出し、堅く守り、悔い改めよ。

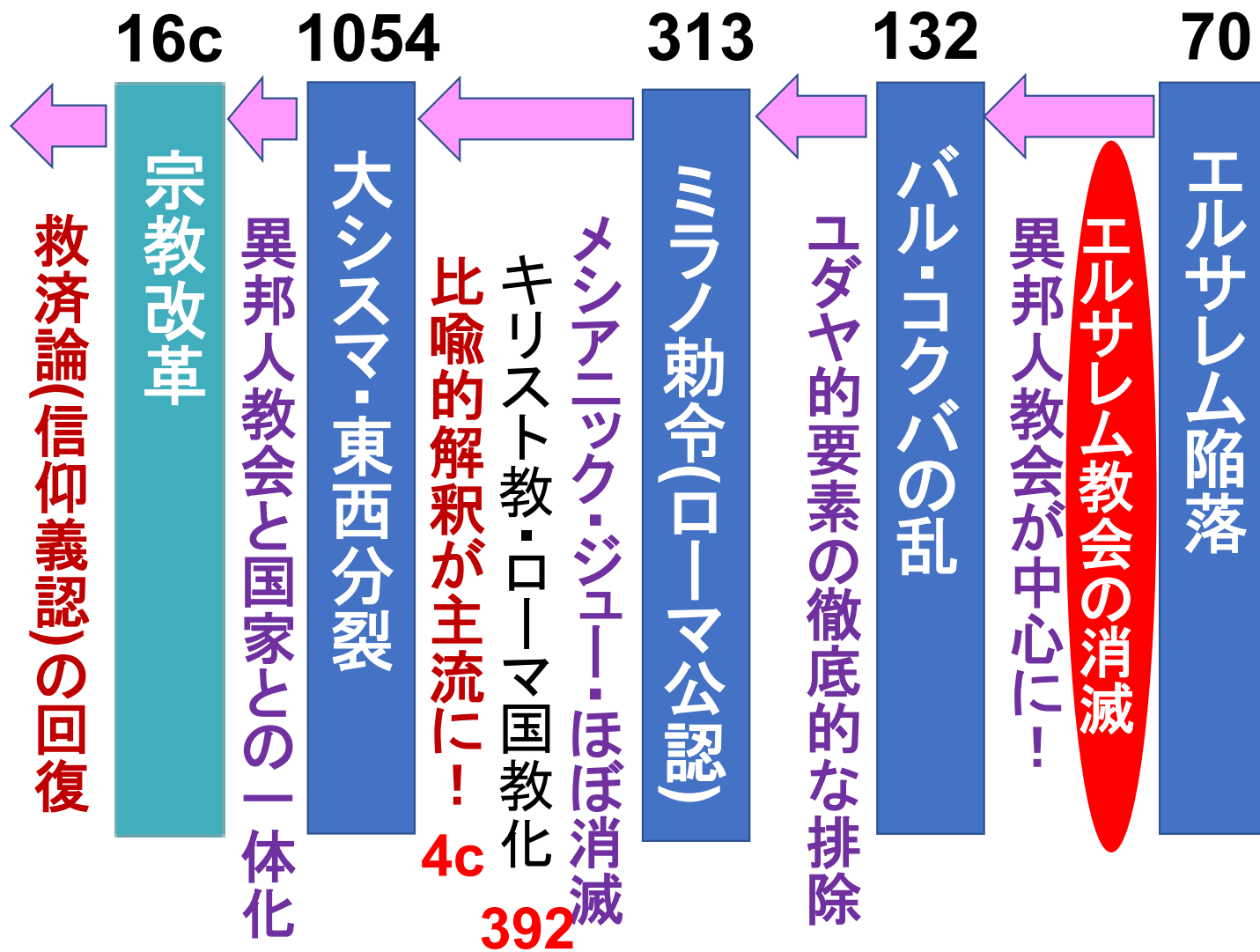
⑤約束...白い衣を着せられる。

父と天使たちの前でキリストが名を呼ぶ。

→永遠の御国の神の民とされる



【本来のユダヤ的文脈の喪失と回復】





過去 →

【⑥フィラデルフィアの教会への手紙】 黙3:7

また、フィラデルフィア*にある教会の御使いに書き送れ。『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵*を持っている方、彼が開くと、だれも閉じることがなく、彼が閉じると、だれも開くことがない。その方がこう言われる—。

* **フィラデルフィア** ...“兄弟愛”

■ 交通の要衝にある戦略上重要な都市だった。

- ・ 様々な産業を抱え、入植地も多かった。
- ・ 肥沃な地で、特にワインが名産。
- ・ 酒の神ディオニソスが町の主神。
- ・ 度々、大地震に見舞われた。紀元37年にも。

* **ダビデの鍵** ... 神の国に至る救いの道を開く鍵。



【⑥フィラデルフィアの教会への手紙】 黙3:8～9

わたしはあなたの行いを知っている。見よ。わたしは、だれも閉じることができない門*を、あなたの前に開いておいた。あなたには少しばかりの力があって、*わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。

* 福音宣教の扉 ➡開かれるのは主イエスご自身。

* “少ししか力がなかったにもかかわらず”(口語訳)

■偉大な宣教者とは、自らの力の小ささを痛感した者。

「Ⅱコリ 12:10 ですから私は、キリストのゆえに、弱さ、侮辱、苦惱、迫害、困難を喜んでいます。というのは、私が弱いときにこそ、私は強いからです。」



【⑥フィラデルフィアの教会への手紙】 黙3:9

見よ。サタンの会衆に属する者*、すなわち、ユダヤ人だと自称しているが、実はそうではなく、嘘を言っている者*たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに来させてひれ伏させ*、わたしがあなたを愛していることを知らせる。

* メシアを拒んだユダヤ人たち。

➡福音を信じたユダヤ人こそ、真の“**靈的ユダヤ人**”

➡福音を信じた異邦人は、“**靈的異邦人**”

* 大患難の最後、イスラエルは民族的回心に至る。



【⑥フィラデルフィアの教会への手紙】 黙3:10～11

あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、
地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとして
いる試練の時*には、*わたしもあなたを守る。

わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠*をだれにも
奪われないように、持っているものをしっかり保ちなさい。

* **大患難時代** ...恵みの時代の最後、7年間の裁き。

* “**エク**” ... “**from**” 大患難時代**から**、守る

* **冠** ... “**ステパノス**” 信仰者に与えられる勝利の冠。

■ 福音を信じた者は、携挙によって天に挙げられ、
大患難時代の災厄から免れる。



【⑥フィラデルフィアの教会への手紙】 黙3:12～13

わたしは、勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱*とする。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレム*の名と、わたしの新しい名とを書き記す。

耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』

* 天のエルサレム(黙21,22章)に、神殿はない。

「黙 21:22 私は、この都の中に神殿を見なかった。

全能の神である主と子羊が、都の神殿だからである。」

■すべての信者は、キリストの体の一部とされている!!



【大宣教時代の教会】 18世紀～19世紀

- かつてない規模で、世界宣教が行われた。
 - ウィリアム・ケアリ(英) ...インド伝道
 - アドニラム・ジャドソン(米) ...ビルマ伝道
 - ハドソン・テイラー(英) ...中国奥地伝道
- 約200年間、世界中で宣教の扉が開かれていた。
- 教会の最大の使命は、福音宣教であることが確認。
- より回復された聖書の真理。原点回帰が進む。
 - 例)ユダヤ人伝道への献金を第一にした
ハドソン・テイラー



【⑥フィラデルフィアの教会】 大宣教時代

①キリスト...聖なる、真実なる、ダビデの鍵を持つ方。

➡永遠の神の国の王なるキリスト

②賞賛...よい行い。キリストの言葉を守り、その名を拒まなかった。

③叱責...なし

④奨励...なし 大宣教命令の忠実さゆえ？

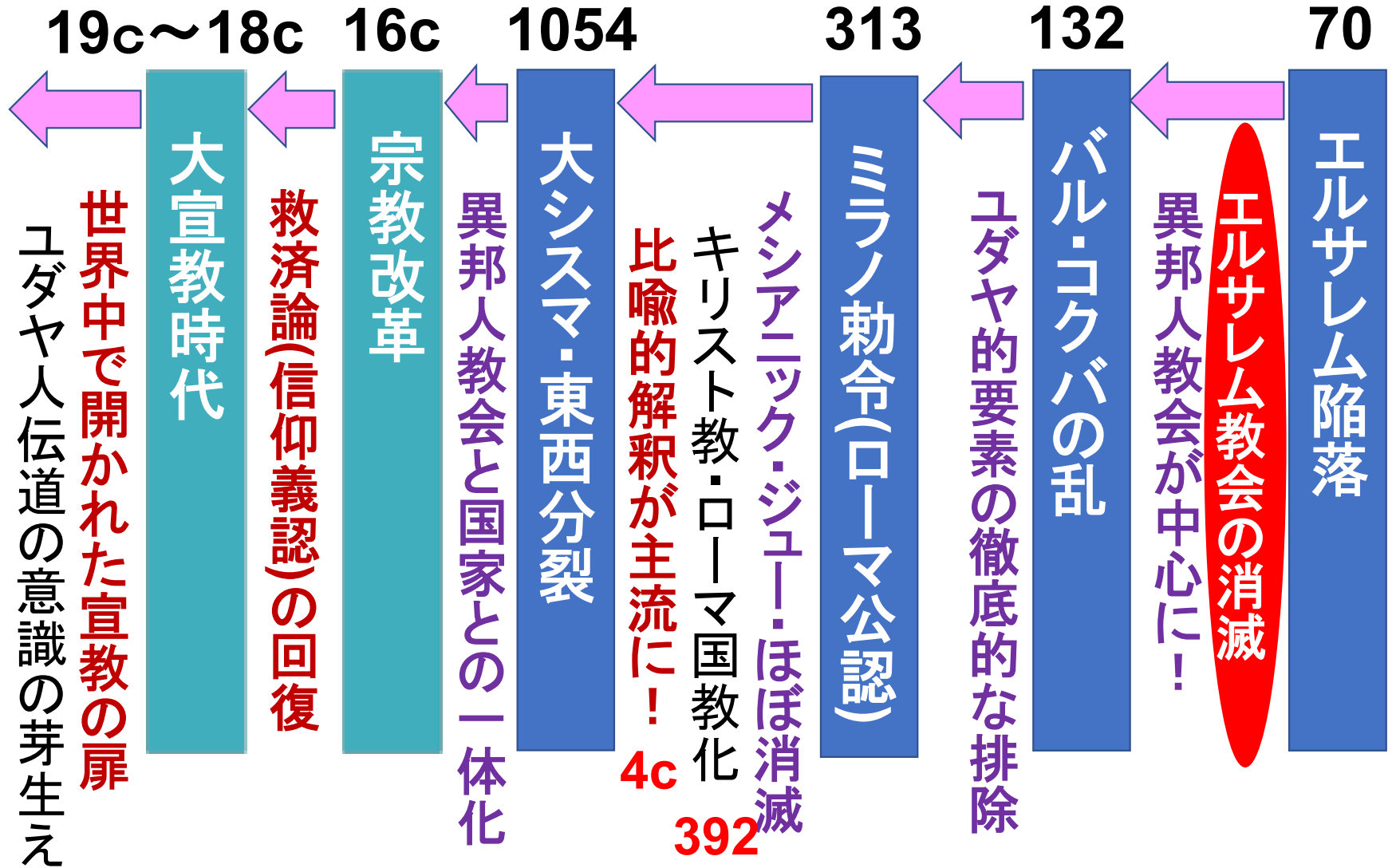
⑤約束...試練の時(大患難時代)からの守り。

神の聖所の柱とされ、神の御名、
新しいエルサレムの御名、
キリストの新しい名が記される。

➡新天新地、真のエルサレムの民とされる



【本来のユダヤ的文脈の喪失と回復】



①エペソ	②スミルナ	③ペルガモン	④ティアティラ	⑤サルデイス	⑥フィラデルフィア
(好ましい)	(没薬)	(結婚した)	(継続した犠牲)	(逃れる者)	(兄弟愛)
使徒時代	迫害時代	国家教会時代	暗黒時代	宗教改革時代	大宣教時代
~1C	1~4C	4~5C	6~15C	16~17C	18~19C
正しい教理	忍耐	護教	行い	残された者	忠実
冷めた愛	叱責なし!	妥協 過寛容	誤教理の 許容	死にかけ	叱責なし! 奨励なし!
良	優	良	良	可	優
過去 →					

【⑦ラオディキアの教会への手紙】 黙3:14

また、ラオディキア*にある教会の御使いに書き送れ。『アーメンである方*、確かに真実な証人*、神による創造の源である方がこう言われる—。

* ラオディキア ...“人々が支配する”

■ 金融、羊毛製品、製薬が主な産業。裕福な都市。

■ この手紙の書かれる35年前、紀元60年に、地震で被災し、再建されている。

■ 紀元前135年には、多くのユダヤ人の共同体が。

* まことの神 ...“The God of amen”(イザ65:15)

* 神ご自身が証人として、ラオディキアを裁かれる。



【⑦ラオディキアの教会への手紙】 黙3:15～16

わたしはあなたの行いを知っている。あなたは冷たくもなく、熱くもない。むしろ、冷たいか熱いかであってほしい。そのように、あなたは生ぬるく、熱くも冷たくもない*ので、わたしは口からあなたを吐き出す。

* ラオディキアでは、遠方から水路を引いていた。

➡なまぬるく、水質は悪かった。

■使徒パウロの時代から、伝道に苦勞していた。

「コロ 4:13 私はエパfrasのために証言します。彼はあなたがたのため、またラオディキアとヒエラポリスにいる人々のため、たいへん苦勞しています。」



【⑦ラオディキアの教会への手紙】 黙3:17

あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、足りないものは何もないと言っているが、実はみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸*であることが分かっていない。

- この町でのユダヤ人の共同体の歴史は古い。
多くの立派な会堂があったのだろう。
- 裕福な都市ラオディキアで、教会の信者たちの多くも経済的成功をおさめ、富んでいた。

* 主イエスによる、ラオディキアの評価

➡ 地域教会の人々の自己評価とは真逆!!



【⑦ラオディキアの教会への手紙】 黙3:18～19

わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金*をわたしから買い*、あなたの裸の恥をあらわにしないために着る白い衣*を買い*、目が見えるようになるために目に塗る目薬*を買いなさい*。わたしは愛する者をみな、叱ったり懲らしめたりする。だから熱心になって悔い改めなさい。

* **買いなさい** ... 経済的豊かさと、信仰的貧しさ。

* **精錬された金** ... 試練によって練られた信仰

* **白い衣** ... 信者が神の国で着るきよめられた衣装

* **目に塗る目薬** ... 閉ざされた信仰の目を開く真理。

■ **金融、羊毛製品、製薬がラオディキアの主産業。**



【⑦ラオディキアの教会への手紙】 黙3:19～

わたしは愛する者をみな、叱ったり懲らしめたりする。
だから熱心になって悔い改めなさい。見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。*だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。

* 地域教会の外に閉め出された主イエスの姿

■ 地域教会には常に真の信者と偽の信者が混在する。

ラオディキアでは、偽の信者が圧倒的多数に!!

➡ 背教の教会



【⑦ラオディキアの教会への手紙】 黙3:21～22

勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせる。
それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の
御座に着いたのと同じである。耳のある者は、御霊が
諸教会に告げることを聞きなさい。』」

* 勝利を得る者 ... 真実に、福音を信じた者。

主イエスの招きに応え、心にキリストを迎えた者。

■ 福音を信じた者には、主イエスの勝利が、

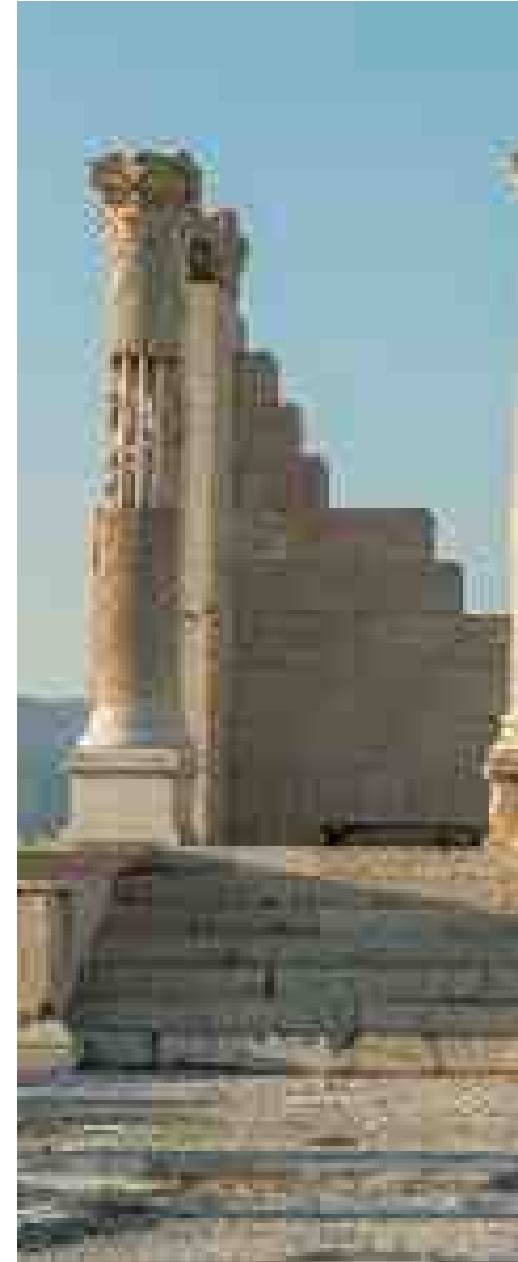
その人自身の勝利とされる。

「ルカ 9:35 すると雲の中から言う声がした。『これは
わたしの選んだ子。彼の言うことを聞け。』」



【背教時代の教会】 1900年～現代～世の終わりまで

- ヒューマニズム、進化論の台頭。人間中心の価値観。
- 自由主義神学の台頭。→欧米、世界でも主流に。
→日本においても、戦前にはすでに主流に!!
- エキュメニカル運動
→教理を骨抜きにした、形だけの一致。
- 経済的には、教会も豊かさを享受しているが、
信仰的には、ひどく貧しい。世と変わらない価値観。
- キリストの神聖すら否定し、福音すらあいまい。
→まさに、主イエスを外に占めだした教会。
- 世の終わり、多くの地域教会はますます墮落していく。
→一人一人に求められる、主イエスへの真実の応答。



【⑦ラオディキアの教会】「人々が支配する」・背教時代

①キリスト...アーメンである方。忠実で、真実な証人。

神に造られたものの根源である方。

戸口に立って、たたいている。

→真理であり、創造主であるキリストは教会の外に

②賞賛...なし

③叱責... 熱くも冷たくもなく、生ぬるいので口から吐き出す。

みじめで哀れで盲目で裸の者である

④奨励... 火で精錬された金(信仰)をキリストから買え

裸の恥を現さないため白い衣(きよめ)を買え

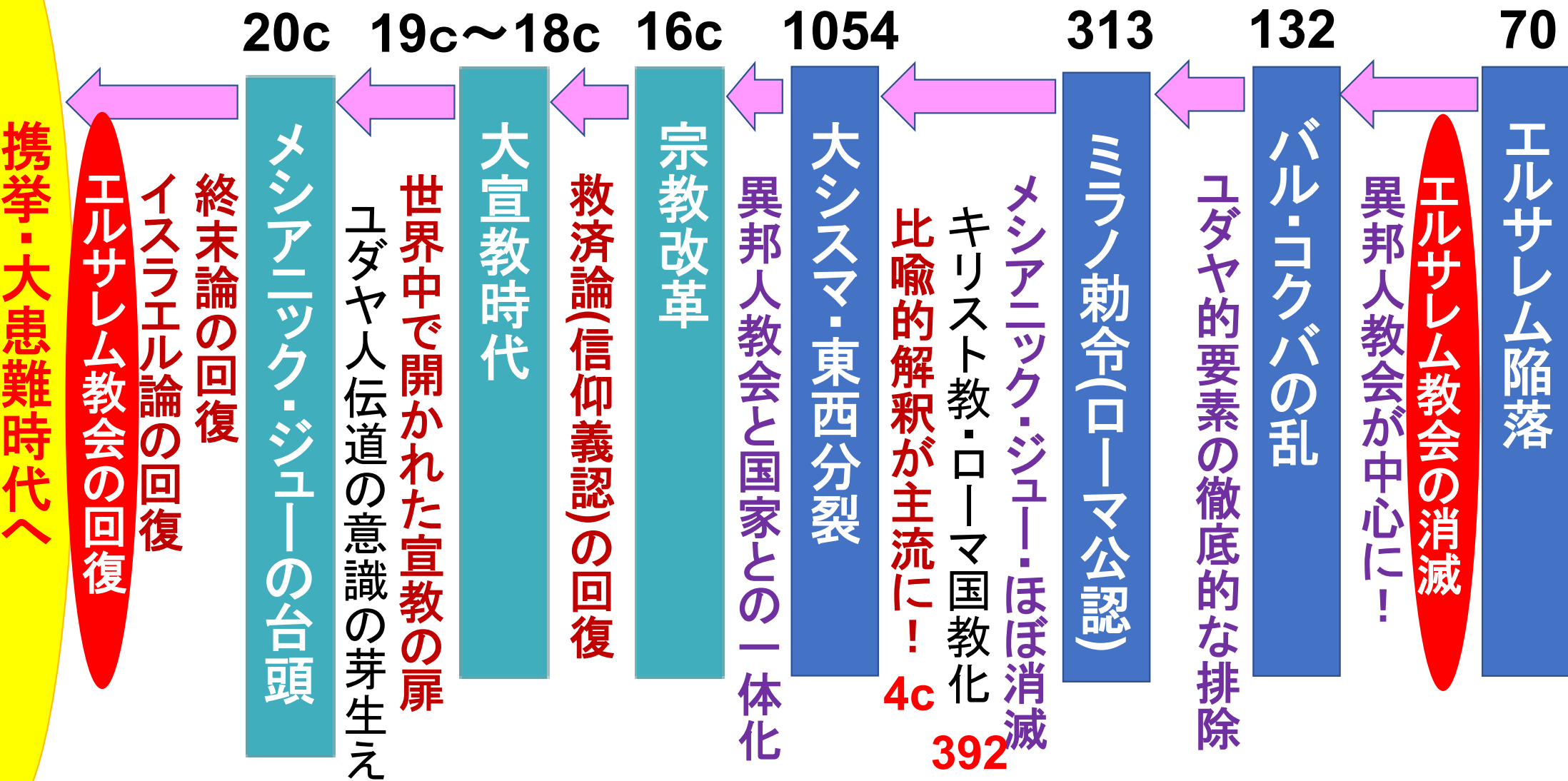
目に塗る目薬(真理)を買え。 →何も所有していない。

⑤約束... 悔い改め、勝利を得るものは、キリストと共に

食事をし、キリストと共に統治する。 →信者の希望



【本来のユダヤ的文脈の喪失と回復】





IV. 背教時代の私たち



【背教時代の教会とは？】

■ リベラル(自由主義神学)の教会の特徴

- 聖書を字義通り信じない。
- 聖書に記された預言の成就を信じない。
- キリストが神の子と信じない。復活さえ信じない人も!!

■ 人間的な教えを、神の教えより優先している。

- ➔ つまりは、“自分自身を神としている” 究極の偶像礼拝
その結果は、形骸化、偽善、倫理的墮落。

【キリストの奨励】 黙 3:18～19

わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金をわたしから買いなさい。また、あなたの裸の恥を現さないために着る白い衣を買いなさい。また、目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい。わたしは、愛する者をしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって、悔い改めなさい。

■ 信仰も、きよめも、真理も、私たちの手にはない。

「買いなさい」 ➡しかし、私たちに買い取る力はない。

■ 主イエスが、十字架の贖いによって、私たちを買い取られた。

➡ただ、受け入れて、信じるなら、あなたは、主の所有とされ、主の所有されるすべてのものが、あなたのものとなる。

■ 求められるのは、悔い改め、聖書に立ち返り、犠牲を払って学ぶこと。

【キリストの励ましと約束】 黙 3:20~22

『見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。勝利を得る者を、わたしとともに わたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。

耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。*』

■ 民族的にメシアを拒んだイスラエルへと同じ呼びかけ。

➡どの時代も、神を信じた霊的イスラエルは少数だった。

■ 求められるのは、少数者として、それでも主に従っていく決意と覚悟!!

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
- ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
- ③三日目に復活(ふっかつ)したことを、を信(しん)じます。

背教(はいきょう)の時代(じだい)に生きる私たちを、
主が憐(あわ)れみ、立ち返(かえ)らせてくださいました。

御霊(みたま)のよって学(まな)びを助(たす)け、
信仰(しんこう)の成長(せいちょう)に導(みちび)き、
救(すく)いの確信(かくしん)を 強(つよ)めてください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって
祈ります。 アーメン」